


生薬解説 258 たー3

音順	生薬名	中医の性味・帰経	中医の用量
たー3	たいけい 大薊 中医生薬解説  ノアザミの地下部、または全草	甘・苦・涼 肝 凉血止血・散瘀 血熱有瘀の鼻出血、吐血、咯血、血尿、不正性器出血などに、単味を濃煎するか鮮品の搗き汁を服用する。側柏葉・茅根・牡丹皮・生地黄などと用いてもよい「大薊飲」「十灰散」。 外傷出血に、単味を搗きつぶして外用する。 破血消腫 癰疽瘡毒（皮膚化膿症）に、単味の搗き汁を内服、外用する。	9～15g、煎服。外用には適量。 新鮮品の搗き汁を服用するときは60g。